

新会長登場



関東コイルセンター工業会

藤澤鐵雄氏

設立50周年を迎える節目の年に第11代会長を拜

しているが、中でも永遠のテーマとも呼べる加工

響力は年々高まってきた。適正な収益を確保し、

ン×4」となる関係を築くためにも、業界の声を発信し続けていきたい」と語る。

「先代社長の父からは「まだ若いからと許されるうちに言いたいことは言うっておけ」と励まされたが、一年を重ねても本音でしか語れない性分は変わらない」と苦笑い。直言居士は「先人たちがつくり上げた素晴らしい組織を後生に引き継ぐため、会員の気持ちをまとめることに全力を注いでいく」と使命感に燃えている。

(音成 泰文)

命。「この業界に生きる人たちの『健康と安全』。まずこれが大前提であり、しっかりと守っていく」と決意を新たにしている。

質の是正に対しては「みんなが同じ思いを抱いている」ものの、数十年にわたって据え置かれていたのが実態だ。

開拓してきた。パートナーであり、鉄鋼メーカーとユーザーを結ぶ役割も共通する。時には「勇気を持ってメーカーやユーザーと交渉していくことも必要」と訴えることも、メーカー、商社、CC、ユーザーが「ウイ

若いころから物怖じせず、先輩経営者からは「本音と建前を使い分けるように」とよく助言を受けたという。先代社長の父からは「まだ若いからと許されるうちに言いたいことは言うっておけ」と励まされたが、一年を重ねても本音でしか語れない性分は変わらない」と苦笑い。直言居士は「先人たちがつくり上げた素晴らしい組織を後生に引き継ぐため、会員の気持ちをまとめることに全力を注いでいく」と使命感に燃えている。

内需低迷、製造業の空洞化、副資材の上昇とコイルセンター(CC)業界が直面する課題は山積

同会の役員15人のうち、9人を商社系CCの代表者が占めるようにCC業界における商社の影

「ユーザーが「共にユーザーを

「ウィン×4」の関係築く